

## 平成29年度第1回月形町地域公共交通活性化協議会顛末

- 1 日 時 平成30年2月21日（水）午後1時56分～午後3時30分
- 2 場 所 月形町役場大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 25名中22名出席（別紙のとおり）
  - (2) 町 上坂町長  
事務局～平田総務課長、五十嵐総務課課長補佐、村瀬企画係長、金山  
企画係主事補

### 4 会議顛末

午後1時56分、会議に先立ち、上坂町長から各委員に委嘱状（町職員の委員には辞令書）を交付。交付後、平田総務課長が開会宣言し上坂町長が挨拶。

（上坂町長）

只今、委嘱状を交付した。任期は本日から2年間となるが、よろしく願います。

月形町も2メートルを超える積雪深になろうとしており、昨年より雪が多い。そのような中、出席いただき、謝す。

町内には、JR札沼線や路線バス等の公共交通が運行しているが、住民混乗のスクールバスしか運行していない地域や交通空白地域が多くある。また、従前より高齢者や交通弱者の交通手段の確保が課題となっていたが、年々深刻になってきていると感じている。

当別町、札幌市方面の交通手段は、JR札沼線しかなく、現在、札沼線の維持・存続問題について協議を進めているが、仮に廃線となってしまった場合、交通手段が途絶えてしまう。

このようなことから、課題の解消に向け、全町的な地域公共交通網の再構築を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「月形町地域公共交通網形成計画」を作成することとし、その協議の場として「月形町地域公共交通活性化協議会」を設置することとした。

この協議会には、多方面から参加していただいているので、様々な意見をいただき、

月形町にとって最適な公共交通網を作り上げていきたいと考えている。

大切な町民の交通手段の確保のため、そして札幌方面等から月形高校に通っている子ども達のために、10年後、20年後に向けた交通網のあり方について、検討・協議していただきたいと考えているので、協力願う。

上坂町長挨拶後、平田総務課長が各委員、事務局を紹介。その後、五十嵐総務課課長補佐が「月形町地域公共交通の見直し検討について」、「札沼線沿線まちづくり検討会議」の協議状況について説明。併せて月形町地域公共交通活性化協議会設置条例第9条の守秘義務は、会議が非公開となった際に適用する可能性があることを説明。

## (1) 議事

### ① 会長及び副会長の互選について

会長が互選されるまで上坂町長が議事を進行。どのように互選したらよいか諮ったところ、福居委員が「指名推薦としてはどうか」と発言。指名推薦よいか諮ったところ、意義等なく指名推薦とすることに決定した。

引き続き、指名推薦の発言を求めたところ、福居委員が「他市町村でも副首長が会長を務めている例が多いので、堀副町長がよいのではないかと」と発言。他に指名推薦の発言はなく、全員一致で了承し、堀委員（副町長）が会長に決定した。（以後の議事は堀会長が進行。上坂町長は退席）

堀会長が副会長をどのように互選したらよいか諮ったところ、福居委員が「会長の指名で決めてはどうか」と発言。これに意義等なく会長の指名で決定することとし、平吹委員を副会長に指名。全員一致で了承し決定した。

### ② 協議会運営規程の制定について

事務局より説明（説明省略）

堀会長が質疑、意見等を求めたところ、特になく、提案内容のとおり制定することに決定した。（平成30年2月21日から施行）

### ③ 協議会傍聴規程の制定について

事務局より説明（第6条の撮影・録音等は、受付時に申し入れしてもらうことに

なることを説明。他の説明は省略)

堀会長が質疑、意見等を求めたところ、特になく、提案内容のとおり制定することに決定した。(平成30年2月21日から施行)

④ 今後のスケジュール等について

事務局より説明(説明省略)

(堀会長)

只今、事務局より説明があったが、1年間かけて最適な交通体系を作り上げていきたいと考えているので、協力願う。

ここで、北海道運輸局から地域公共交通網形成計画にあたっての留意点等について発言を願いたい。

(中山委員)

地域公共交通網形成計画は、平成30年1月末現在、全国で335件提出され、再編実施計画は21件認定されている。

道内では、地域公共交通網形成計画は14件、再編実施計画は2件(千歳市、岩見沢市)認定されている。札幌運輸支局管内では、今年度、北広島市、江別市、当別町が作成し、平成30年度は月形町のほか、小樽市、余市町、共和町が作成予定となっている。

地域公共交通網形成計画は、地域に提供されている交通サービスの課題を探っていく形で作成を進めていくことになるが、月形町は町内交通網が整備されていないとのことなので、これがメリットにもデメリットにもなる。メリットとしては新たに、自由に構築できるという点であるが、どこに課題があるのか探するのが難しいというデメリットもある。

地域公共交通網形成計画の作成に当たっては、まちづくりにも関係してくるので、ビジョンを持って作業を進めてほしいと思う。併せて地域にどのような移動需要があるのか調査することも重要で、地域ごとに徒歩、自転車、バス、JR、自家用車等、どういう移動ニーズがあるのか丁寧に把握していくことが必要である。

また、計画に掲載した事業をいっぺんにできるわけではないと思うので、一つずつ展開していくことになる。その中にはハードもあるだろうし進めていく中で出て

くるものもあると思う。

協議会を進めていく中で専門的な事項は必要に応じて部会で議論するのが現実的だと思う。北広島市では2つの部会があり、かなりの頻度で開催している。

(堀会長)

岸委員から何かあれば発言願う。

(岸委員)

地域公共交通網形成計画の作成に当たってコンサルに委託することになると思うが、業者選定はどのように決める予定か？

(五十嵐総務課課長補佐)

プロポーザル方式で決めたいと考えている。

(岸委員)

指名競争入札で価格優先の選定だと、決まった業者の知識が十分でなく、よい計画ができなかったり、月形町に必要な分析ができないという場合があるので、プロポーザル方式で決めた方がよいと思う。

地域公共交通網形成計画の作成に当たっては、現状と将来、両方の移動ニーズを検討しなければならない。現状よりもっと町を集約したいとか、目的地をどうしていくのかを固めていく必要がある。

公共交通は利用者がいないと維持できない。車を使っている人がどこまで利用するのか、どこまで便利にできるのか、議論が必要だと思う。

(堀会長)

町内の交通弱者の視点、高齢者の生活の足の現状について福居委員から発言願う。

(福居委員)

社会福祉協議会では、町内の高齢者、障がい者の通院や買い物の送迎を行っている。営利団体ではないので、利益を出して運行することができない。

福祉有償運送を行っている中で一番困っているのは事故のことである。走行中の段差でバウンドした際、高齢者、障がい者には腰に負担がかかることがある。

行政のバックアップを得ながら、職員の育成も行っていきたい。

【ほかに質疑等なし】

⑤ その他

(堀会長)

事務局から連絡事項等あれば発言願う。

(村瀬企画係長)

本日、委員を委嘱したが、団体・組織から推薦を受けている委員もおられる。人事異動で担当が変わり、委員を退任することになる際は、その旨事務局に連絡願う。

(堀会長)

各委員から何かあれば発言願う。

(平井委員)

J Rは月形高校の生徒の利用が多いと思う。

最近は降雪が多かったこともあってJ Rが運休になることもある。運休した際の代替交通の確保についてもこの協議会で議論してほしい。

先日運休した際、下校で2便バスを出してもらっているが、J Rの職員がいなく、月形高校の教員が添乗を行った。また、浦臼までも運行せず、代替のタクシーを出してもらえず保護者とトラブルがあった。

このようなことから運休時の代替交通の確保についても対応をお願いしたい。

(一條委員)

雪で列車をやむなく運休させることがあり、迷惑をかけている。天候を見て運行可能なときは代替バスを出しているが、吹雪がひどいときは代替も運行できないので、理解願いたい。

代替バスの添乗員がいなかったこと、代替タクシーのことは把握していなかったもので、石狩当別駅に確認する。

(平井委員)

代替のハイヤーと連絡が取れないこともあるので、J Rと地域のハイヤーとが連携して対応してもらいたい。

(一條委員)

石狩当別駅に確認し対応についても相談させてもらう。

【ほかに質疑等なし】

(会長)

交通網の形成は、本町にとって初めての取り組みである。各委員から助言・指導をいただきながら進めていきたいと考えているので、協力願う。

午後 3 時 3 0 分終了